

今井寺内町（檀教委 2014-3 次）発掘調査 現地説明会資料

平成 26 年 11 月 30 日（日） 檀原市教育委員会

1. はじめに

今井町は戦国時代の 16 世紀前半頃に一向宗の門徒が中心となって形成した寺内町です。安土桃山時代（16 世紀後半）から江戸時代前期（17 世紀）にかけて商業都市として栄え、『大和の金は今井に七分』と言われるほど繁栄しました。今井町には江戸時代の古い家屋や街並みが今も多く残されており、平成 5 年には重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

今井町の周囲には、防御と水利の機能を兼ね合わせた濠（環濠）や土居とが巡らされています。これらは戦国時代には軍事的な防御施設として、江戸時代には町人の財産を守る施設としての役割を果たしており、濠の管理は町全体で行われていました。

江戸時代中頃（18 世紀）以降、商業都市としての今井は次第に衰えていきます。明治時代以降には、濠も次第に埋められて宅地や農地へと変わっていきました。濠の埋め立てについては、詳細な記録がほぼ残されていないため、古い濠や土居の正確な配置や形状は分からなくなっていました。しかし近年、発掘調査によってその姿が再び明らかになってきています。今回の発掘調査地点は今井町の西辺南半部、濠の西肩（外側）にあたると思われる場所です。

2. 発掘調査の成果

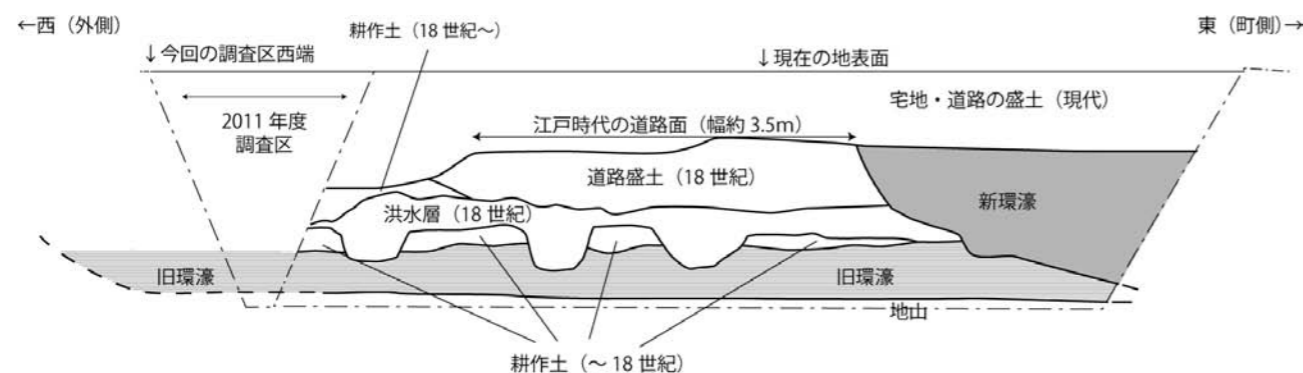
過去の発掘成果や絵図から、調査地周辺では少なくとも新・旧二時期の濠が存在することを確認しています。新環濠は内・外二重の濠であったことも明らかになっています。以下に今回の成果をまとめます。

◎ 新環濠について

各調査区で新環濠の西岸を確認しました。濠の西岸の位置は、おおむね調査前の車道の西辺と一致しています。調査区南端では濠の南西コーナー部分も確認しています。濠の上幅は約 11～14m、深さは約 1.3m 以上です。濠の埋土からは江戸時代後期～昭和初期（18 世紀～20 世紀前半）を中心とする陶磁器・土師器・瓦・仏具・木製品・ガラス製品などの遺物が多数出土しています。

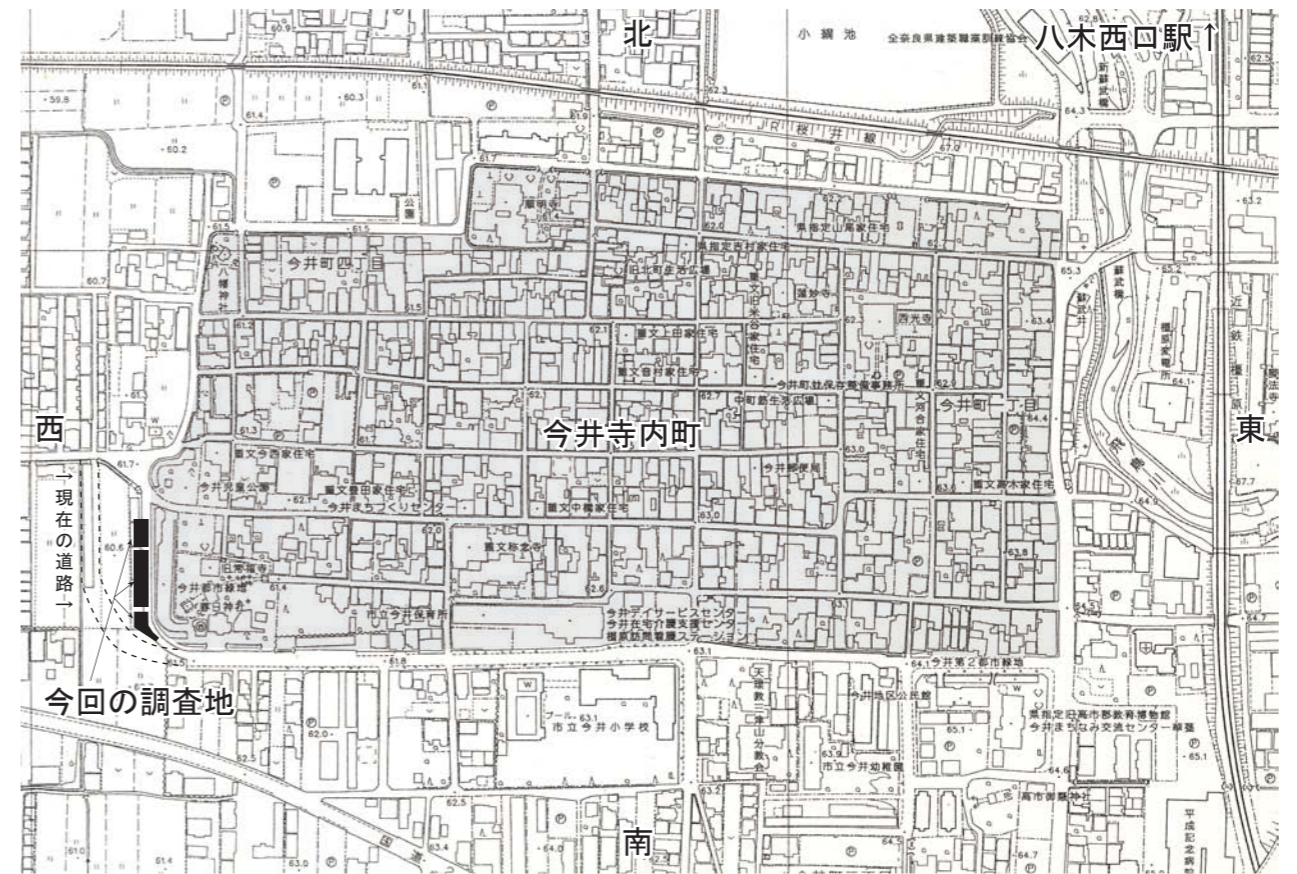
◎ 18 世紀の洪水と道路築造

新環濠の西側では東西幅約 3.5m の道路面を検出しました。これは濠の外側に沿う南北道路で、18 世紀以降に盛土を施して築かれています。盛土の厚さは約 0.2～0.4m です。道路盛土の下には 18 世紀代の洪水層が堆積しており、この洪水によって下層の耕作層が埋没しています。洪水を機に、濠の西側



※新環濠は現代の水道管理設などによってかなり破壊されています。この図では復元して描いています。

遺構の東西断面模式図



発掘調査地位置図（S=1/5,000。調査面積：約 650 m²）

にあった耕作地の一部を道路に変えたようです。また、濠の外側に盛土をすることで濠の深さを深くし、以後の洪水に備える意図もあったと思われます。17 世紀後半の今井町絵図には濠の西側に道路は描かれておらず耕作地（水田）となっていますが、18 世紀末頃の絵図には道が描かれており、今回の成果と符合しています（裏面の図参照）。

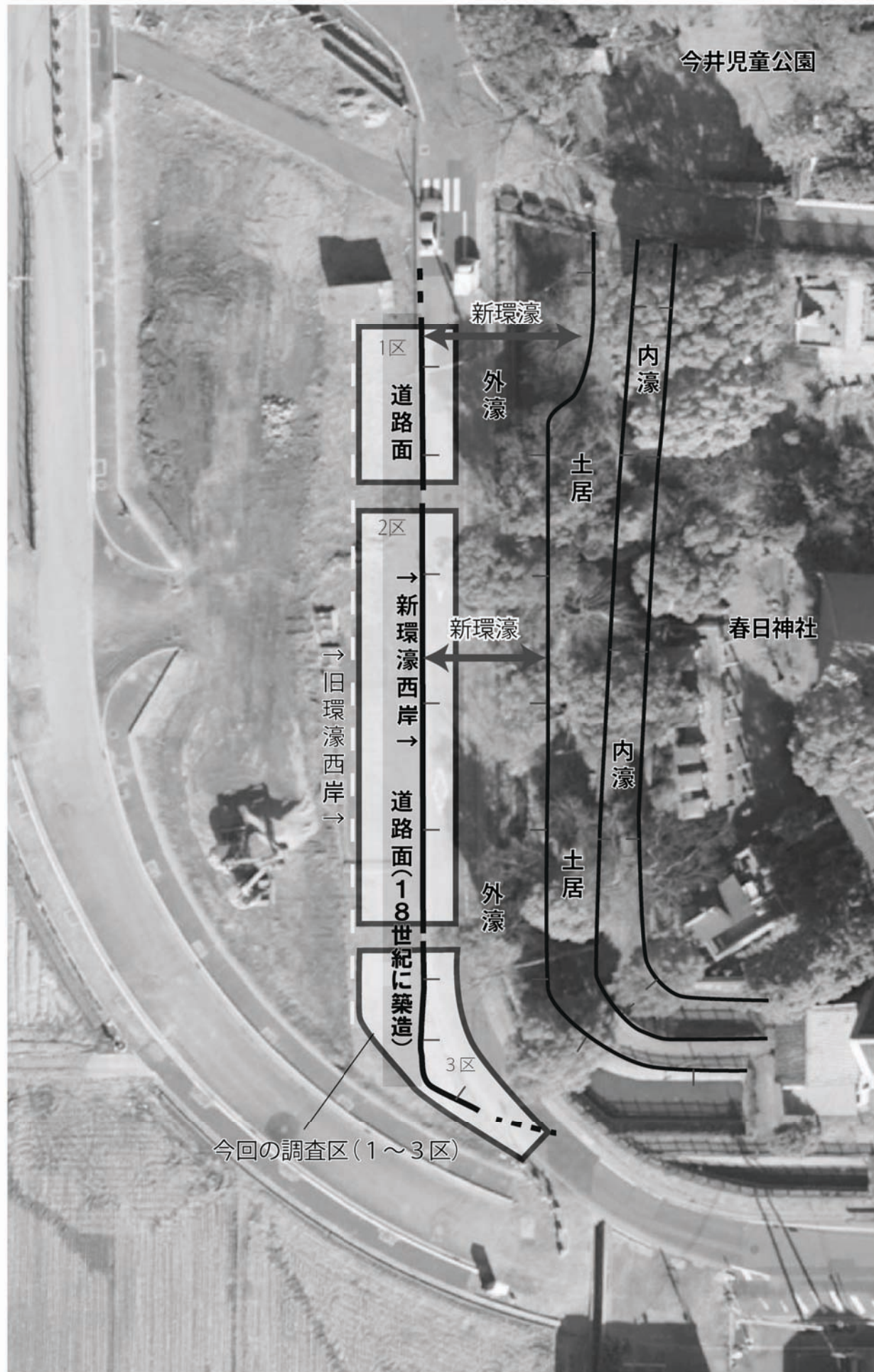
◎ 旧環濠について

新環濠および 18 世紀までの耕作土の下層で、旧環濠の埋土を検出しました。今回の調査範囲は旧環濠の範囲内に収まっており、濠の西岸は調査地より西側に位置します。旧環濠の埋土からは、わずかながら陶器片や鉛玉（銃弾か？）、宋銭（祥符元宝。11 世紀铸造）などの遺物が出土しています。旧環濠は 18 世紀よりも古い時期の濠ですが、正確な時期は不明です。

3. まとめ

江戸時代から昭和初期まで用いられていた濠（新環濠）を確認することが出来ました。濠は何度も掘り直しや岸の修復が行われており、町が共同で濠を管理していた様子の一端が窺えます。ただし江戸時代後期以降には塵が投棄されるようなことも多くなっていたようで、商業都市としての今井町の衰えを反映していると考えられます。

旧環濠の時期は不明ですが、周辺の発掘調査では 16 世紀後半に埋め立てられた濠も発見されており、今回検出した旧環濠もその時期の濠である可能性があります。1570 年代には大坂の石山本願寺を中心とした一向宗門徒と織田信長との抗争が展開し、今井も本願寺側として信長勢に対抗しました。今井は 1575 年に信長に降伏しており、降伏時の赦免状が残されています。降伏の際にその証として濠が埋められたと考えられます。その後、天下を治めた豊臣秀吉の世には再び濠を巡らし、徳川家康の庇護も受け商業都市として発展を遂げていきました。今回確認した新環濠や今も残る町並みはその姿を現代に伝えるものです。



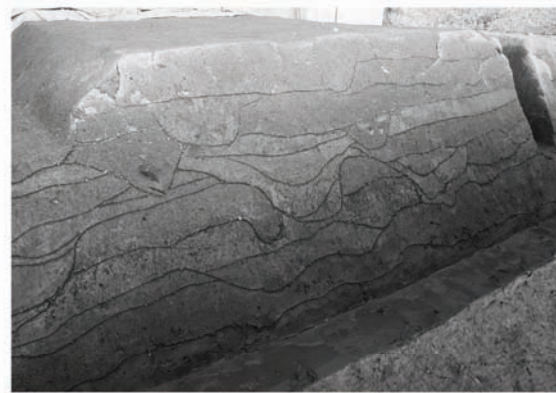
調査地周辺平面図(上が北)



調査地全景(北から)



新環濠断面(南から)



2区北壁 道路面下断断面(南西から)



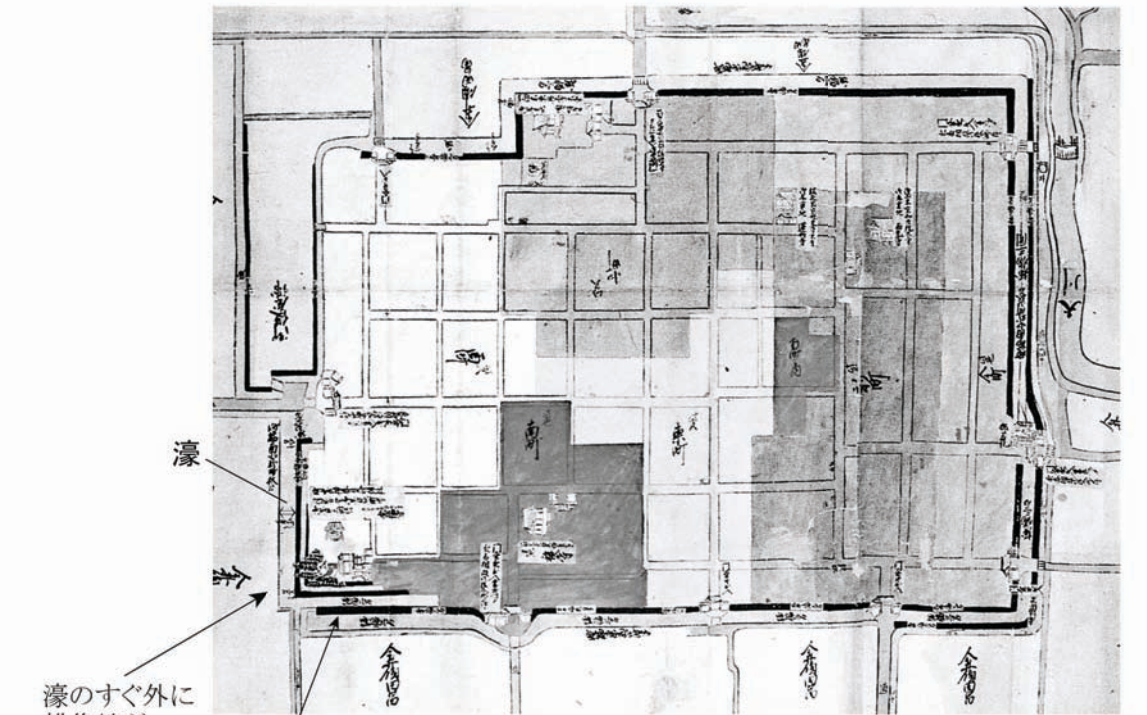
新環濠 南西コーナー 遺物出土状況(南東から)



調査前風景(南から)



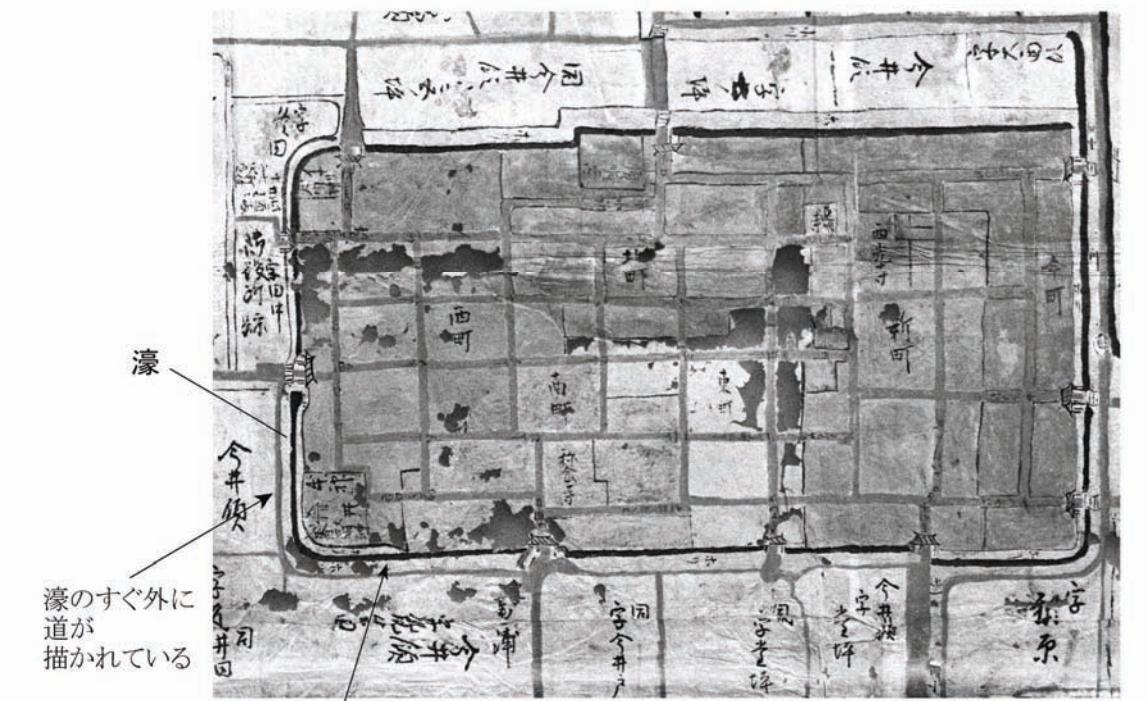
新環濠 下駄出土状況(北西から)



濠のすぐ外に耕作地が描かれている

土居

17世紀後半の今井町絵図(上が北)



濠

濠のすぐ外に道が描かれている

土居

18世紀末頃の今井町絵図(上が北)